

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 3 月 14 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102690
法人名	有限会社 優寿の里
事業所名	グループホーム優寿の里
所在地	松山市堀江町甲207番地1 (電話) 089-979-3791
管理者	堀 恵子
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15
訪問調査日	平成 20 年 1 月 21 日
評価確定日	平成 20 年 3 月 17 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 1 月 4 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 9 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	1 人
職員数	21 人
常勤	10 人
非常勤	11 人
常勤換算	16 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	35,000	円	その他の経費（月額）	10,000	円
敷 金	有（ ）円		○ 無		
保証金の有無 （入居一時金含む）	有（ ）円 ○ 無		有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食		円	昼食	
	夕食		円	おやつ	
	または1日当たり		1,116	円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 1 月 4 日事業所記入)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	5 名		
要介護5	4 名	要支援2	名		
年齢	平均 84.8 歳	最低 48 歳	最高 105 歳		

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くに工場や倉庫が立ち並ぶが、川岸にホームはあり、季節感も十分味わえる環境にある。開設して5年半となり、利用者は落ち着いた生活を送っている。表情は明るく、各利用者の意志表示もあり、利用者同士の関係もスムーズである。運営者、管理者、職員のコミュニケーションも取れており、サービスの質の向上に向けて職員一同努力している。食を大切にしており、美味しく楽しく食べることや、生活の中で各々の利用者の思いを大切にすることなどを当たり前のこととして大切にし、実践している。医療法人運営のホームではないが医療連携は充分取れてお

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)

地域を巻き込んでの防災対策については、地域との連携を取り具体的に進めているが、まだまだ充分とはいえない。運営推進会議等で問題提議をしながら進めていくことを期待したい。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)

評価の意義を理解した上で、各職員で自己評価をしている。より良いホームにしたいとの意欲は高く、管理者や職員間の意志の疎通も図られている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)

虐待防止についてホームの現状を紹介しながら理解してもらう、看取りについてホームの状況を説明し家族と話し合いながら進める、防災訓練について協力を依頼して体制等を説明する、利用者本位のケアをより充実する為にセンター方式の導入を検討していることを理解してもらい利用者の生活歴等の情報提供等に協力してもらう、などに取り組んでいる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)

支払いは振込ではなく月1回持参してもらっているため、その時できるだけ多く話し合うようにしている。意見箱を設置し、話しやすい雰囲気づくりに努め、外部の相談苦情窓口等についても説明している。意見等いただいた内容はその都度検討し、直接本人に返すようにしている。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)

ホーム行事へ参加を呼びかけ、地域行事にも積極的に参加し、できるだけ利用者と共に繋がりを持っている。自治会に入会しており、運営推進会議等でも情報が入ってくる。近所の方との交流はできるようになってきている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム・優寿の里

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏 名

堀恵子

評価完了日

平成 19 年 1 月 4 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 利用者ひとり一人が、その人らしい生活が送れるような理念が作られている。		
			(外部評価) 家族や地域の方から信頼され、開かれたホームを基本方針とし、利用者の安定した生活が続けられるよう努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を組み入れたケアプランを、スタッフ間で共有し実践できるよう日々努力している。		
			(外部評価) 運営者は常に思いを言葉や行動に表わし、職員と共に理念を共有しており、理念の実践に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関など、目のつく所に掲示し、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけたときなどに、挨拶をしている。	※	夏祭りなどの施設内行事への招待を行っていききたい
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 敬老会、運動会などの地域活動に参加し、交流に努めている。 (外部評価) ホーム行事に参加を呼びかけるだけでなく、地域行事にも積極的に参加し、比較的スムーズに交流できている。自治会にも入会している。近所の方とも散歩時にあいさつを交わしたり、作物を届けてくれるなど交流のがある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 特に取り組みは、していない。	※	地域に貢献できることはないか、今後職員間で話し合いをもちたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会、引継ぎ時に話をして、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 全職員で自己評価を行い、改善に取り組み、外部評価もありのままを示し、より良いホームとなる為の機会と捉えており、改善への意識が高い。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 概ねに、二ヶ月に一回の運営会議で意見交換を行っている。		
			(外部評価) ホームの状況報告や情報交換、時々の問題について提起し話し合うなど、会議をサービスの向上に繋げている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に参加して頂き、情報を得ている。		
			(外部評価) 運営者は市との交流に努めているが、まだまだ結果としては実っていない。運営推進会議に参加している職員を通じてホームを理解してもらっている。	※	今後は積極的に問題解決のための意見交換について関係各部署へ働きかけていくことを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 運営推進会議の議題として掲げ、必要な方には相談にのっている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会などで学ぶ機会を持ち防止に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、重要事項説明書にて十分な説明を行い疑問点があれば説明し、理解、納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に参加して頂き、自由な意見を伺っている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 来訪時、アルバム、書類などを通じ、家族に伝えている。 (外部評価) 月1回は支払いもかねて家族に訪ねてもらい、生活状況、写真、金銭収支等を報告し、情報交換もしている。職員の異動に関する報告はケースバイケースで必ず行っているわけではない。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置している。面会時に、ホームへの意見なども伺っている。 (外部評価) 意見や希望は職員間で共有し、できるだけ対応できる形で返している。また外部の相談苦情窓口についても説明し、書類等でも確認できるようにしている。玄関入口には意見箱も設置されている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員から意見や提案などを聞ける奮闘気を作れるように、努めている。	※	定期的に、職員の意見を聞く機会を設けたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員間で、話し合いの上勤務調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の移動は、必要最小限に抑える努力をしている。今のところ影響はみられないが、今後もダメージを防ぐよう配慮を続けていきたい。 (外部評価) 離職を抑える努力をしている。働きやすい職場について、運営者をはじめ皆でオープンに話している。利用者へのダメージへの配慮もしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 資料などで内部での勉強会などを行っている。 (外部評価) 職場内外への研修参加に努めており、段階に応じた学びの機会も運営者から働きかけている。内容によっては出張扱いとするなど、勤務にも配慮している。研修後の報告や伝達講習等も計画している。ヒヤリハットの分析等も学習としている。	※	段階に応じた研修に積極的に参加していきたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 研修に参加して、ネットワークを作り、今後相互訪問等の機会を作っていきたい。 (外部評価) 運営者を通じて10社程と交流できる環境にあり、相互の行事等への参加や意見交換会は実施できているため、今後はさらにネットワークづくりを通して相互の質の向上に具体的にに取り組むことを期待する。	※	積極的に同業者と交流を持ちサービスの質の向上をさせていきたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 日々、職員に声をかけ、悩み、相談などの声を聞いている。	※	職員間の親睦会などの機会を増やしたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 日常、度々施設内を訪れ、職員の状況を把握し、研修への参加などに声がけしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人に話を伺ったり、家族より提供して頂き求めていることを受け止めよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族より情報を提供して頂き、受け止めるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 介護相談員等と検討した上で本人に合った支援を行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 数回の施設訪問で、馴染んでもらっている。 (外部評価) 家族の情報や思いも大切に、相談しながら進めることを心がけており、施設訪問や体験入居などで徐々に馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の健康状態に応じて、本人の過去の話や今の思いを語り合い、喜びや悲しみを共有している。 (外部評価) 利用者から生活の知恵や得意なことを学び、共に生活する関係を大切にしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に、本人の状態を把握し、そのときに応じて対応している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族に、施設の行事に参加して頂き、本人と共に楽しみを味わっている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人の面会後、電話などで連絡をとっている。また、自宅訪問、ご近所までドライブなど、外出支援を行っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士が、協力し合い、勇気付け合えるように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院後には、お見舞いに出かけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望に沿った、生活の流れを作っている。 (外部評価) 日常生活の中での行動や言葉に注目し、本人の意向を把握している。また利用者同士の関係からも多くの情報を得ている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族からの情報提供により、職員間で共有し把握している。又、居室は、なじみの装飾品を持ち込まれている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日常の生活記録で、現状を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアプラン作成時に、本人、家族に希望を伺い、職員全員と会議を開いて、よりよいプラン作成に努めている。 (外部評価) 本人、家族の希望は常に情報として計画に盛り込んでいる。一応の担当利用者を決めており、普段の生活で把握した情報を計画作成に活かしている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月に一度のプラン見直しを行い、必要に応じては、話し合いを持ち、現状に応じた計画を作成している。 (外部評価) 毎月カンファレンスで評価し、変化があまりなければ3か月に1回見直しをしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の記録を記入し、利用者の変化に気づいた、介護計画の見直しに役立てている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 買物・ドライブなど、個々の利用者に合わせた外出支援を行っている。施設内の行事に家族を招待している。 (外部評価) 時々の要望等に応じて墓参り、法事、ホタル狩り、ドライブ、買い物等にも対応している。家族との縁が薄れていた方に働きかけ、関係が回復した例もある。具体的には若い職員らが中心に支援方法を提案し、働きかけ、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 定期的に運営推進会を開催し、地域の方々と協力し合って支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービス事業での行事などに参加させてもらいながら支援している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加してもらい情報を得ている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 365日24時間体制で受診又週1度の往診が北条フェニックスよりあり、又そこから済生会の訪問看護ステーションとの提供支援がある。 (外部評価) かかりつけ医や協力医療機関の協力はスムーズで、24時間対応可能で、医療の対応は往診も含めて定期的に、また緊急時にもできるよう体制整備されている。	※	病気に対して職員間で統一して対応又高齢者がおこりやすい病気、今の状態に対しての勉強会など行なっていきたい。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医の北条フェニックスと相談、又は堀江病院へ受診し、診断や治療を受けられるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医の看護師へ疑問な点の相談又変化時の電話など連絡をとっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ケアマネージャーが主に医療関係との協働を行い職員への連携を行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時又運営推進会議時、家族との勉強会、病状が進んだ場合などその都度話し合いかかりつけ医との家族との相談にもかかわっている。 (外部評価) 家族やかかりつけ医と常に話し合いを持ち全員で方針を共有しており、看取りの経験もある。家族との相談にも関わり状況に応じた対応をしている。	※	今後も勉強会など行っていきたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) どこまでが可能かを状態に合わせて職員又家族とも話し合い、医療への連携を行っている。 重度化に合わせた福祉用具導入（ベッド・ポータブル・車椅子など）	※	職員への重度化・終末期の教育
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 今までの住み慣れた部屋の家具の位置を使い慣れた物品など住み替え先へ持っている。 その方の生活パターンなど情報交換を行う。	※	入居時にしっかりと家族に伺う。 問題があったときに、ピンポイントで情報を家族と交換する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりの生活暦・性格・環境を考慮した上での言葉かけ、対応を行っている。 (外部評価) 一人ひとりの歴史を尊重し、個々を大切にしたい対応をしている。また記録類の取り扱いにも細心の注意を払っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の意志決定に合わせ対応している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員が業務優先にならないような努力を行い、その人らしく生活が送れるような支援をしている。 (外部評価) 個々のペースを大切にしており、その日のスケジュール等は本人と一緒に決めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者の希望により、理容・美容に行き毛染めなど行っている。 行事があるときや外出時など職員と一緒に化粧をしたり、洋服を選んだり購入することもある。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る方には、調理の下ごしらえなど一緒に行えている。 利用者の体調に合わせて支援している。 (外部評価) 一緒に食事の準備や片付けをするなど、利用者のできることを大切にしている。本人の摂取状態に合わせて形態にも工夫している。利用者の好みも時々メニューに入れ、ホットプレートを使った料理も一緒に楽しんでいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 10時、15時のおやつ時にはリクエストメニューを取り入れることもある。 外食や喫茶店へ行き、好きな物を注文して頂いたりすることがある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個人別に排泄のパターンがほぼ決まっている為、トイレ誘導を実施している。 排泄のリズムをつかみ、オムツやパットの使用でもトイレの誘導、排泄の支援をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 順番で行っているが、失禁など優先に声掛けにて実施している。 (外部評価) いつでも入浴できるよう準備しており、毎日の希望にも対応している。入浴を嫌がる人にはいろいろな対応を試みながら支援している。	※	入浴するまでにおっくうになられる方が多い為、日替わり湯など表示をし、楽しみにして頂ける工夫を行いたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間にひびかない程度の居室又ソファでの休憩を行っている。 日中寝入ってしまう程度での声掛け、レクリエーションなど行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 行事の司会など目立つことが好きな方、又何も自分からはしたくないがコーヒータイトムがお好きな方、お手伝いが好きな方と一人ひとりに合わせた支援を行っている。 (外部評価) 食事の準備や片付け、調理、掃除、洗濯物干し・たたみ、花の水遣り等個々に役割を分担している。また家族の意見を聞きながら、得意なことを把握するよう努めている。	※	張り合いや気晴らしの支援を考えて取組みたいと思う。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理が可能な利用者には、買物時自身で支払いされている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 利用者本人の意思を尊重し、外食、ドライブ、買物に出掛け季節感を味わって頂いている。 (外部評価) 利用者の体調や気分、その日の天候などを考慮しながら、希望を聞いて散歩やドライブに出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 本人の要望を聞いた上で、家族と相談し、家族の協力を得たりして出掛けている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 暑中見舞、年賀状などを送付している。 本人の希望時には自由に連絡が取れるように支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に訪問できており、居室で又はリビングで会話を楽しまれている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 「身体拘束について」勉強会で取り上げ職員共有したケアに努めている。	※	転落など危険防止の為には家族と相談、納得の上同意書を頂いている。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員が理解の上、自由に出入り出来るよう鍵をかけていない。 (外部評価) 日中は玄関に施錠せず、自由に出入り可能である。利用者個々の動きは確認できており、出かける様子がある利用者には声かけしたり一緒に出かけている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 入室の際、声かけ、ドアノックを行ないプライバシーに配慮しながら安全にも気をつけている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりに合った保管方法をとっている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 資料などを参考に知識を学び、事故へつながり得そうな事はひやりハットに記入している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会などで学ぶ機会を持ち防止に努めている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回訓練を行なっている。 地域の方との交流を深め、協力を得られるよう働きかけている。 (外部評価) 年2回訓練し、反省会も実施している。運営推進会議などを利用して地域の人々への協力が得られるよう働きかけているが、まだ充分ではない。昼間は近隣の方やホーム近くに住む職員等の協力体制はできている。また災害時の対応については今後の取り組みを期待する。	※	地域の協力体制を確認し、マニュアル化することを期待する。災害対策は避難の具体的な方法や備蓄についても検討し、整備することを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 異常があった場合等は電話で連絡を取り説明し、面会時にも対策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 留意点を伝達記録し、変化や異変には速やかに情報を共有し対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師、薬剤師より薬の説明を受けており、変更時には様子観察を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食品、水分摂取や適度な運動を心がけている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き誘導、協力医院による、定期的な口腔ケアを、行なっている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 状態の変化に、日頃から観察をし、異常時には早期に対応を行っている。 (外部評価) 栄養のバランスを考慮し、利用者の好みも取り入れてメニューを作っている。食事及び水分摂取量も確認し、一人一人の摂取状態やによって適切に支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルに添って実行している。 毎月話し合い、その都度注意している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、調理用具の衛生に努め消毒や殺菌を行い、食材は新鮮な物を選び使用している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 庭には花を植え、畑には野菜を植え、玄関前にはベンチを置き花を眺めたり野菜を収穫したりして家庭的な雰囲気になっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) トイレ、浴室はドアとカーテンで2重にしてあり、リビングでは他者との交流を図り、料理を共に作ったり、歌を歌ったりその季節に合った作品を作り飾っている。 (外部評価) 廊下、居間、台所等は使いやすい配慮があり、利用者・職員共々暮らしやすい。季節感のある飾りや花が置かれている。浴室やトイレは手すりやいすが用意されている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにはソファを置き、TVをみたり、テーブルを囲み会話を楽しんでいる。又気の合った者同士部屋の行き来をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものを持ち込み過ごしやすい空間になっている。 (外部評価) 居室は個々に個性があり、タンス、いす、テーブル、写真、位牌、人形、テレビ等持ち込まれている。整理の難しい人は職員と一緒に片付けや掃除等している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度、湿度計の設置、各部屋の利用者に確認して温度調節を行い適度な換気を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 要所への手すりの設置、作業のしやすい高さのテーブルや洗面台、物干しになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 常に配慮し、混乱を未然に防ぐようにしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 季節に合った花や野菜を共に育て、収穫を楽しんだり外気浴を行っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	その場その時々で願いが変わったり、現実には叶わない(自宅で暮らしたい・ずっと眠っていたいなど)こともあるが、可能な限りどのように思われているかを会話の中で探り、職員間で共同し努力を行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午後、職員と利用者がゆっくりと一緒にコーヒーなどを飲みながら過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り無理なことはせず、個々のペースを大切にして職員が一人ひとりに合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔が見られたり、職員が支援することによって利用者より進んで手伝いをされたり、又まかされることも楽しみにされ利用者から声がかかることもある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩、公園、ドライブ、買物など毎日ではないが日を決めて行えている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事のカロリーや摂取量の調節、衣類、室温調節、又24時間体制の提携がとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族との連絡を取り話し合いを行うことによって、又じっくりと利用者の話を聞くことによって落ち着いて暮らせている。 (不安時、家族と利用者との電話など)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時、又何かあれば家族に連絡を行い、いつもの様子や変化時相談を行いながら一緒に利用者のことを考えている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	利用者一人ひとりの友人が訪れ、職員付き添いの上外食が行えたり、入居前のインフォーマルな方(教会の方)地域の農家の方々が時折来所されている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の運動会、小学校の行事（どろんこサッカー）見学、近所の子供さんの訪問など少しずつ増えてきているが、今後は地域のボランティアさんの訪問行事など考えている。
98	職員は、活き活きと働けている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間で話し合い、又得意分野の分担により楽しく働けている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	集団の生活で共同（トイレ・お風呂）など順番になることもあるが、利用者さんの笑顔や、リビングに来られ利用者さん同士よく会話があり、和やかな雰囲気過ごせているので、おおむね満足していると思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族がよく訪問して下さり（月1～4回）職員はその都度家族と話し合いを行っている。行事などにも参加される家族が多く、相談・協力を行いながら利用者を支援できていると思われるので、おおむね満足されているのではないと思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

（自己評価）

一人ひとりの生活を大切に、利用者・家族共に自分の家で生活をしているような生活空間を作るよう努力し、尚豊かな生活が出来ている事がよかったと思えるようなホームを目指したい。そして利用者と共に喜びや悲しみを分かち合い、共に生きている姿勢を大事にしている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 優寿の里

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)

氏 名 藤本崇

評価完了日 平成 19 年 1 月 4 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念をつくり、実践するよう努めている。 また基本方針にも、家族や社会から信頼される開かれたホームを目指している。		
			(外部評価) 家族や地域の方から信頼され、開かれたホームを基本方針とし、利用者の安定した生活が続けられるよう努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 目につく所に掲示し、日々取り組んでいる。		
			(外部評価) 運営者は常に思いを言葉や行動に表わし、職員と共に理念を共有しており、理念の実践に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関や居間など来訪者の目につく所に表示し、取り組んでいる。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 休憩時間にはホームのベンチで休んで頂いたり、気軽に声をかけさせて頂いている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事に積極的に参加させて頂いている。(老人会・バザー・運動会他) (外部評価) ホーム行事に参加を呼びかけるだけでなく、地域行事にも積極的に参加し、比較的スムーズに交流できている。自治会にも入会している。近所の方とも散歩時にあいさつを交わしたり、作物を届けてくれるなど交流のがある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 気軽に立ち寄り相談して頂けるよう民生委員さんやご近所の方に声をかけている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義を理解し、評価を活かすよう具体的に取り組んでいる。 (外部評価) 全職員で自己評価を行い、改善に取り組み、外部評価もありのままを示し、より良いホームとなる為の機会と捉えており、改善への意識が高い。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 活発な意見のやり取りをし、今後の質の向上に努めている。		
			(外部評価) ホームの状況報告や情報交換、時々の問題について提起し話し合うなど、会議をサービスの向上に繋げている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 現状では、運営推進会議以外の交流は持っていない。	※	今後は、運営推進会議以外にも市担当者との交流を図っていきたい。
			(外部評価) 運営者は市との交流に努めているが、まだまだ結果としては実っていない。運営推進会議に参加している職員を通じてホームを理解してもらっている。	※	今後は積極的に問題解決のための意見交換について関係各部署へ働きかけていくことを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に参加したり、パンフレットを入りに置き、必要に応じて活用できるよう支援している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会や勉強会で話し合い、防止に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い理解、納得を図り、同意の署名捺印を頂いている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気軽に意見、不満、苦情を言える関係づくりを心がけ反映させている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 面会時や必要に応じて報告をしている。 (外部評価) 月1回は支払いもかねて家族に訪ねてもらい、生活状況、写真、金銭収支等を報告し、情報交換もしている。職員の異動に関する報告はケースバイケースで必ず行っているわけではない。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に相談箱を設置し、苦情を気軽に相談いただけるよう来訪時などの機会に度々声かけをしている。 (外部評価) 意見や希望は職員間で共有し、できるだけ対応できる形で返している。また外部の相談苦情窓口についても説明し、書類等でも確認できるようにしている。玄関入口には意見箱も設置されている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会議、ケース会議、相談ノートなどで意見を聞き反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) その時々に応じた対応が出来るよう、出勤人数の調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職を抑える努力をし、代わる場合はダメージを防ぐ配慮をしている。 (外部評価) 離職を抑える努力をしている。働きやすい職場について、運営者をはじめ皆でオープンに話している。利用者へのダメージへの配慮もしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会、勉強会、定期購読の雑誌（おはよう21）などで勉強している。 (外部評価) 職場内外への研修参加に努めており、段階に応じた学びの機会も運営者から働きかけている。内容によっては出張扱いとするなど、勤務にも配慮している。研修後の報告や伝達講習等も計画している。ヒヤリハットの分析等も学習としている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 夏祭りなどの行事への参加や意見交換会への参加を通してネットワークを構築し、質の向上を目指している。 (外部評価) 運営者を通じて10社程と交流できる環境にあり、相互の行事等への参加や意見交換会は実施できているため、今後はさらにネットワークづくりを通して相互の質の向上に具体的にに取り組むことを期待する。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 休みの希望をとり、無理の無いローテーションを組んでいる。 常時、相談に応じられる環境を整えている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 個々の状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者やご家族からよくお話を伺い、現状とこれからの求めに沿っていけるよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ケアマネジャーと共にご家族への聞き取りを行い、ご家族の求めていることを受け止めるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容により、必要とした支援を検討している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) サービス利用前に、体験入居などを通して徐々に馴染める環境を作っている。 (外部評価) 家族の情報や思いも大切に、相談しながら進めることを心がけており、施設訪問や体験入居などで徐々に馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者一人ひとりの人格を尊重し、理念にもある共に生きる姿勢を大事にしている。 家事や歌、昔の話を通し、本人の経験を学ぶ場を作っている。 (外部評価) 利用者から生活の知恵や得意なことを学び、共に生活する関係を大切にしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 気軽に訪問できる場を作り、ご家族と共に本人を支えている。 行事への参加を呼びかけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者のご家族との関係を、利両者やご家族の情報をもとに理解した上で、より良い関係が築けるよう努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の記憶の中にある場所への外出支援を行っている。 親戚や知人などの訪問も多い。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの気持ちを把握し、共に喜怒哀楽を感じられる場面を作っている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された方などにお見舞いに行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話の中や、ちょっとした訴えの中から利用者の要望を捉え、本人本位のケアに努めている。 (外部評価) 日常生活の中での行動や言葉に注目し、本人の意向を把握している。また利用者同士の関係からも多くの情報を得ている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人からの聞き取りやご家族からの情報提供により、今までの暮らしを把握することに努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日常の記録等により、利用者一人ひとりの現状を把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアマネージャーを中心とし、本人・ご家族の意見を取り入れた介護計画を作成している。 (外部評価) 本人、家族の希望は常に情報として計画に盛り込んでいる。一応の担当利用者を決めており、普段の生活で把握した情報を計画作成に活かしている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月ごとに介護計画を見直し、急激な変化が見られる場合には、その都度新たな介護計画を作成している。 (外部評価) 毎月カンファレンスで評価し、変化があまりなければ3か月に1回見直しをしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 気づきや工夫の情報を共有し、その時に合った介護計画を立てられるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 利用者やご家族の話をよく聞き、その時々々に応じた柔軟な対応に努めている。 (外部評価) 時々々の要望等に応じて墓参り、法事、ホタル狩り、ドライブ、買い物等にも対応している。家族との縁が薄れていた方に働きかけ、関係が回復した例もある。具体的には若い職員らが中心に支援方法を提案し、働きかけ、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの協力を得て、行事などの支援を行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域の行事に参加している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加してもらい情報を得ている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 医療機関、歯科等と連携をとっている。 24時間体制で緊急時には指示を仰ぎ、適切に対応してもらえる。 (外部評価) かかりつけ医や協力医療機関の協力はスムーズで、24時間対応可能で、医療の対応は往診も含めて定期的に、また緊急時にもできるよう体制整備されている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医等又詳しい医師に診察相談をし、利用者の診断治療を受けられるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 連携を持っている医療機関の看護職の方に、日常の健康管理医療活用の支援をして頂いている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関と連携をとり、病状の確認をしながら早期退院に向け支援している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族、かかりつけ医等と常に話し合いを持ち重度化、終末期に向け全員で方針を共有している。 (外部評価) 家族やかかりつけ医と常に話し合いを持ち全員で方針を共有しており、看取りの経験もある。家族との相談にも関わり状況に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化、終末期に向けたチーム支援は、利用者がより良く暮らせる為に早急に見極めチームとしての支援に取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ご家族や本人との十分な話し合いを行い、ダメージを防ぐように努める。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人のプライバシーには十分に注意し、言葉かけ対応記録の取り扱いに十分な配慮を行っている。 (外部評価) 一人ひとりの歴史を尊重し、個々を大切にしたい対応をしている。また記録類の取り扱いにも細心の注意を払っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の意思の尊重、希望に沿うような働きかけ、力に合った説明を支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限りその人らしい生活を送れるよう、職員の都合を優先しないよう努めている。 一人ひとりのペースに合うよう大まかな予定しか立てず、柔軟な対応が取れるよう支援している。 (外部評価) 個々のペースを大切にしており、その日のスケジュール等は本人と一緒に決めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 身だしなみには十分に配慮している。 理容、美容も本人の望むよう支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事は個々に合わせた支援を心がけて、準備、片付けなど出来る範囲で共用している。 ホットプレートを使った料理などをし、一緒に楽しめる場を作っている。 (外部評価) 一緒に食事の準備や片付けをするなど、利用者のできることを大切にしている。本人の摂取状態に合わせて形態にも工夫している。利用者の好みも時々メニューに入れ、ホットプレートを使った料理も一緒に楽しんでいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好の支援は状況に合わせ、日常的に楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄の間隔を把握して、すみやかにトイレ誘導をする事により、オムツの使用を減らし、又本人の排泄の感覚を取り戻せるよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 身体状態により入浴が十分に出来ない利用者もいるが、いつでも入浴ができるように支援している。 毎日のようにお風呂を沸かし、希望があれば毎日でも入浴できるようになっている。 (外部評価) いつでも入浴できるよう準備しており、毎日の希望にも対応している。入浴を嫌がる人にはいろいろな対応を試みながら支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者は殆ど安眠している。 出来にくい利用者は、日中適度な運動をしてもらったり個々に合った対応をしたりして、安眠につなげている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 洗濯干し、食前食後の手伝い、掃除、花の水やり等役割分担し、喜んでいろいろの場面に参加できるよう努めている。 職歴や得意なことを把握し、その人に合った支援を行っている。 (外部評価) 食事の準備や片付け、調理、掃除、洗濯物干し・たたみ、花の水遣り等個々に役割を分担している。また家族の意見を聞きながら、得意なことを把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭を管理できる方は、小額ずつ所持して頂いている。 難しい方については、おこづかいを預かり、スーパーなどに出掛けた際にお渡しするようにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 本人の体調や気分、その日の気候などを考慮して、出来るかぎり外気浴や散歩、ドライブ等に出掛けるようにしている。 (外部評価) 利用者の体調や気分、その日の天候などを考慮しながら、希望を聞いて散歩やドライブに出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 美術館や菊花展等のイベントや、住み慣れた場所への外出など、本人の希望に合った場所への外出の支援をしている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人が電話をしたり、手紙を書いたり出来るよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に訪問でき、リビングや自室でお話いただけるようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 原則として、身体拘束は行っていない。 転落防止の為に、ベットのサイドレールを取り付けていただいている方については、ご家族の同意を頂いています。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけずチャイム等に対応している。ただし、お風呂場や干し場などの転倒、転落の危険が考えられるところには、簡単に外すことはできるが、鍵が掛かっている。 夜間は防犯の為に施錠している。 (外部評価) 日中は玄関に施錠せず、自由に出入り可能である。利用者個々の動きは確認できており、出かける様子がある利用者には声かけしたり一緒に出かけている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の過ごしたい場所で過ごしてもらえるよう支援し、安全に配慮して見守りを十分に行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬品、洗剤、刃物などは安全な場所へ保管している。 必要な場合には、職員と共に使用して頂く様にしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 危険を感じた場合には、ヒヤリハット報告に記入し、情報の共有を行い、事故防止に努めている。 勉強会を開き、知識を学んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当や初期対応についての勉強会を行っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年二回の避難訓練を行っている。 (外部評価) 年2回訓練し、反省会も実施している。運営推進会議などを利用して地域の人々への協力が得られるよう働きかけているが、まだ充分ではない。昼間は近隣の方やホーム近くに住む職員等の協力体制はできている。また災害時の対応については今後の取り組みを期待する。	※	地域の協力体制を確認し、マニュアル化することを期待する。災害対策は避難の具体的な方法や備蓄についても検討し、整備することを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 外出など一人ひとりに起こりうるリスクを考えて、ご家族とよく話し合っている。 必要な場合には同意書を頂いている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常とは異なる状態の変化があったときには、バイタルチェックを行い、特に重点的に様子の観察が出来るよう情報の共有と引継ぎを行っている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の内容を理解し、間違いの無い薬の服用を支援している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維などを多く含む食品や、乳製品や果物等を摂取できるよう心がけている。 日常動作の中やリハビリ体操などの適度な運動を行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 起床時や毎食後に歯磨き、口腔ケアを行うよう支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランスを考えた食事の提供に努めている。 (外部評価) 栄養のバランスを考慮し、利用者の好みも取り入れてメニューを作っている。食事及び水分摂取量も確認し、一人一人の摂取状態やによって適切に支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染予防マニュアルを作成し、職員全員が目を通して いる。 手洗い、うがいをこまめに実施し、玄関には消毒液を備えてある。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具は、特に清潔の保持に努めている。 食材は賞味期限内の新鮮なものを使用している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 塀が無く前面にオープンスペースがあり、周りに花や季節の野菜を植え、その花や野菜を収穫している様子を笑顔で見守ってくださっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日中、大半を過ごすリビングには、特に季節感に配慮し、観葉植物や花、四季を表現した貼り絵を作成、展示して楽しんでいる。 (外部評価) 廊下、居間、台所等は使いやすい配慮があり、利用者・職員共々暮らしやすい。季節感のある飾りや花が置かれている。浴室やトイレは手すりやいすが用意されている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) いくつかのリビングソファとテーブルがあるので、一人で新聞を読んだり、陽の当たる日中うとうとされたり、ふと思い出した話を利用者同士で話したりと思い思いに過ごせるように工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には、出来る限り使い慣れた家具や持ち物、懐かしい写真などを置き、居心地の良い空間を作るよう努めている。 (外部評価) 居室は個々に個性があり、タンス、いす、テーブル、写真、位牌、人形、テレビ等持ち込まれている。整理の難しい人は職員と一緒に片付けや掃除等している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) リビングで過ごされている時には、自室の窓を開けて空気の入れ替えに配慮している。 冬場は加湿器など利用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 歩行時に危険となりえるものは排除し、自由に行き来の出来る環境を整えている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの性格、体質体調に配慮し、遠くから見守ったり、言葉をかけたりしている。 出来ることはお手伝いして頂く様にしている。		
87		○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭にあるベンチで外気浴したり、他の入居者の方とのコミュニケーションを楽しむ。 庭の野菜を収穫し調理する。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない 利用者の日常の会話の中から利用者の訴えを読み取り、何をしたいのか理解できている。 入居前の情報の中からグループホームでの暮らし方の意向を掴んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない 共に生きる姿勢を大事にし、共に喜怒哀楽を感じられるゆったりとした時間を過ごされている。 おやつ時や午後のゆったりした時間には、歌を歌ったり、昔話をして一緒に過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない 自由に自室に戻ったり、リビングでテレビをみたり、うとうとお昼寝をしたりと一人一人のペースで毎日を過ごせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない 一人ひとりへの声かけ、身の回りのケアに笑顔でかえして下さる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない 天候や、体調を考慮してショッピング、散歩、ドライブなどにいつでも出掛けられるように支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない かかりつけ医の往診、又は受診があり健康面でも安心して暮らせるように支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない 利用者との会話の中から、その時その時期に利用者が何をしたいかを捉え、柔軟な対応を取れている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない 面会時や直接の電話にて、コミュニケーションを図り、ご家族の要望や考えていることを把握している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない ご近所の農家の方から時おり野菜の差し入れがあります。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通して、市の職員の方や、民生委員の方などつながりや関係が深まりつつある。
98	職員は、活き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員同士でよく話し合い、日々活き活きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活のなかで、たびたび感謝の言葉をかけて頂けている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時や、手紙等で感謝の言葉を頂けている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者のみならず、ご家族を含めた家庭的で楽しく穏やかに日々過ごしていけるよう努めている。

利用者と共に喜びや悲しみを分かち合い、共に生きている姿勢を大事にしている。

一人ひとり、その時々に関わせた対応を職員同士で共有し、日々の安定した生活につなげている。